

事業名	街路事業 相川小戸木橋線		事業区分	街路事業	室名	都市政策室
事業概要	工期 (下段:当初)	H9年度～H21年度	全体事業費 (下段:当初)	3,365百万円(負担率:国5.5:県2.9:市1.6)		
		H9年度～H14年度				
事業目的及び内容						
<p>【課題】現状では、近鉄久居駅から国道165号のアクセス路線である県道久居停車場津線において歩行者、自転車、自動車の輻輳がみられ、安全な交通環境が確保できていない状況にあります。また、県道久居停車場津線と国道165号が立体交差となっているため、路線相互間の流出入に迂回が生じています。</p> <p>【事業の目的】都市計画道路相川小戸木橋線は、旧久居市を南北に縦断する幹線道路であり上記課題の緩和等を目的として実施している街路事業です。相川小戸木橋線の整備により県道久居停車場津線のバイパスとして安全・安心な道路交通環境の形成、都市内交通の円滑化が図られ、また、電線類の地中化を行うことで、美しい都市景観の創出、安定したライフラインの実現が図られます。さらに、久居駅から国道165号へのアクセス性が向上することにより、久居駅周辺市街地の活性化が期待されます。</p> <p>事業期間 : 13年  全体事業費 : 3,365百万円  事業概要 : 延長 L=504m 幅員 W=22.0m</p>						
事業主体の再評価結果						
<p>1 再評価を行った理由</p> <p>事業採択後一定期間(10年)が経過している事業であるため、三重県公共事業再評価実施要綱第2条に基づき再評価を行いました。</p>						
<p>2 事業の進捗状況と今後の見込み</p> <p>① 平成9年度に事業着工し、平成11年度より用地買収を進め、平成15年度より一部工事着手しています。</p> <p>② これまでに、90%(用地補償契約100%、工事42%)の進捗が図られています。(平成18年度末見込み)</p> <p>③ 平成21年度末の完成供用に向けて事業を推進してまいります。</p>						
<p>3 事業を巡る社会経済状況等の変化</p> <p>○市町村合併</p> <p>旧久居市は平成18年1月に津市と合併し、相川小戸木橋線は市町村合併支援道路として位置づけられています。</p> <p>○上位計画</p> <p>平成15年に策定した「新道路整備戦略」において、重点整備箇所として位置づけています。</p> <p>○周辺環境</p> <p>近鉄久居駅周辺の再開発が進み、駅周辺市街地の活性化に資する施設である再開発ビル「ポルタひさい」が平成10年に全面オープンしました。</p>						

#### 4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元の意向の変化等

##### 4-1 費用便益比

○事業区間全体の費用便益比は、

走行時間短縮便益	64 億円
走行経費減少便益	9 億円
交通事故減少便益	0 億円
総便益	73 億円
総費用	35 億円

費用便益比は、「2.1」となります。

##### 4-2 地元の意向

旧久居市は、平成 18 年 1 月に津市と合併し、相川小戸木橋線は、新市建設計画において合併を支援する事業として位置づけられています。

#### 5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

##### 5-1 コスト縮減

- ①舗装工においてリサイクル材の活用により工事費の約 2% (6.3 百万円) のコスト縮減を図ります。
- ②歩道下に埋設する上水道・下水道 (津市施工) ととも工程調整し、同調施工することで、上下水道工事による舗装の掘り返し等を防ぎます。

##### 5-2 代替案

都市計画道路であり、用地契約も 100%完了していることから、本路線の代替案は無いと判断します。

#### 事業主体の対応方針

三重県公共事業再評価実施要項第 3 条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第 5 条 1 項に該当すると判断されるため当該事業を継続したいと考えています。